

2015年8月11（火）～8月14日（金） 第14回 聞き書き甲子園 開会式・事前研修会が行われました。

ファミリーマートは「聞き書き甲子園」を10年にわたり支援しており、2006年から店頭募金「夢の掛け橋募金」の一部を認定NPO法人共存の森ネットワークに寄付しています。

皆様からお預かりした募金は、高校生が聞き書き取材を通じて先人たちと世代を超えた交流の時間を持ち、名人名手の知恵を後世に伝える「聞き書き甲子園」の活動として、青少年育成に使わせていただいています。

2015年8月11日（火）に「第14回聞き書き甲子園」に参加する高校生100人が全国から集まり研修の開会式が行われ、その後3日間にわたり聞き書き甲子園の事前研修会が開催されました。

2015年8月11日（火） 開会式 於：東京都庁・都民ホール 都議会議事堂1階

2015年8月12日（水）～8月14日（金）事前研修会 於：高尾の森わくわくビレッジ（東京都八王子市）



聞き書き甲子園とは？

「聞き書き甲子園」は、認定NPO法人共存の森ネットワーク等が主催して実施しており、日本全国の高校生を対象に広く募集し、高校生たちが森や海・川の名手・名人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」し、記録する活動です。参加した高校生が、森・海・川の名手・名人と世代を超えた交流を通して、森林や海からの豊かな恵みやそこに暮らす人々の営み、地域の伝統・文化などについて学び、その成果をフォーラムで発表します。ファミリーマートは、2005年度からこの活動に賛同し、2006年度から、店頭募金「夢の掛け橋募金」の一部を寄付している他、参加高校生募集活動の支援として、ファミリーマート店内放送やレジ液晶画面・募集チラシ設置等で協力しています。また聞き書き研修会への社員派遣、企業募金等による支援を継続して行っています。

＜聞き書き甲子園ホームページ： <http://www.foxfire-japan.com/>＞



聞き書きする高校生と名人

「聞き書き甲子園」研修会開会式

都民ホールで行われた開会式では、主催者挨拶に続き、聞き書き甲子園の講師でもある作家 塩野米松氏の「聞くコツとは？」についての講演と、聞き書き甲子園実行委員長の蒔澤寿一氏より、続いて「なぜ、今、聞き書きか」と題した講演が開催されました。参加した高校生（100名）から聞き書き甲子園についての質問もあり、活発な意見のやり取りがされ、これから行う「聞き書き」に対する意気込みが感じられました。



開会式にて 蒔澤寿一氏による講演



塩野米松氏による「聞くコツ」の講演

「聞き書き甲子園」事前研修会

8月12日～14日、東京都八王子市の高尾の森ビレッジで行われた研修会は、名人のもとへ取材に行く高校生が「聞き書き」の心構えや基本的な技術を習得するとともに、「聞き書き」の楽しさを学ぶことを目的としています。実習では、参加高校生100人がグループに分かれ、「聞き手」となって「聞き書き」を体験しました。この「聞き書き甲子園」事前研修会の実習において、ファミリーマート社員も、「話し手」として参加し、協力しています。



「話し手」となり質問を受けるファミリーマート社員



高校生は「聞き手」、「聞き書き」の事前練習に取組む

この事前研修会から「聞き書き甲子園」の1年間にわたる高校生の活動がスタートします。これから名人への取材訪問、聞き書きレポート作成と提出、そして来年の3月下旬フォーラムの場での成果発表へと続きます。